

記入日:

2018年4月5日

活動名	避難世帯における長期休みの子ども預かり事業		団体名称	特定非営利活動法人やまがた絆の架け橋ネットワーク	
			活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動	
			活動の目的	⑦自然災害で被災した子供を支援する活動	
■申請書の活動概要<150~200字>		■申請書のスケジュール		■各スケジュールごとの活動内容	
山形県内に避難を続けている東日本大震災の被災者(主に福島県からの自主避難者)世帯の子ども達を、冬休み、春休みの長期休みの際、預かりを行い、保護者の就労の手助けをすると共に、子ども達に対し、規則正しい生活を維持し、宿題をはじめとする学習補助、遊びを通じた人間関係の構築やしつけなど、特殊な生活環境下にある子ども達の健全な育成に寄与する。		2017.10月中旬 11月上旬 12月上旬 12月下旬 2018.1月上旬 2月上旬 3月上旬 4月上旬 5月上旬		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的な計画立案および冬休み預かりについて計画を作成</li> <li>・支援対象者に対し広報開始、学生ボランティアの募集開始</li> <li>・利用予定者を確定、学生ボランティアの体制確保</li> <li>・冬休み預かりを開始、毎日の利用者に加えスポットでの預かりもとする</li> <li>・冬休み預かりを終了、保護者へのアンケート実施、振り返り課題抽出</li> <li>・春休み預かりの計画を作成、支援対象者に対し広報開始、学生募集</li> <li>・利用予定者を確定、学生ボランティアの体制確保</li> <li>・春休み預かりを終了、保護者のアンケート実施、振り返り、課題、改善点</li> <li>・解決出来なかった課題、ニーズ、改善点、効果などをまとめ事業終了</li> </ul>	
■活動目標	山形県内に避難を続けている東日本大震災の被災者(主に福島県からの自主避難者)世帯の子ども達を、長期休みの際預かりを行い、保護者の終了の手助けをすると共に特殊な生活環境下にある子ども達の健全な育成に寄与する。				
■長期成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難生活という特殊な環境が子どもの成長に与える悪影響を少しでも解消する。</li> <li>・子どものために仕事を休む機会を減らすことで生活を安定させ、避難先への定住か帰還するか、安定した生活の元、安定した精神状態で判断できるようにする。</li> </ul>				
■活動風景					
■上期の成果と下半期に向けた改善点			■実施体制		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬休みの預かりは予定通り6日間で実施し、利用した子どもはのべ18名(1日平均3名)であった。当初予定より少ない人数になったが、利用者に発達障害を持つ男の子がおり、スタッフの手がかかることを見込まれたため、一定の人数で締め切った。</li> <li>・子ども達の変化として、朝こころの公民館に到着すると最初に宿題をやらせるようにしたが、自然と自分から宿題を広げるようになり、「宿題やろう」と声がけする必要がなくなった。また、学生ボランティアは日本画を専攻している学生だったため、絵を描く宿題を丁寧に指導し、素晴らしいできばえと共に保護者には絶賛された。</li> <li>・また、全員ゲーム機を持参してきたが、2日目からはゲーム機を触ることがなくなり、ボードゲームや将棋、トランプなど昔の子ども達の遊びがメインになった。特に将棋の人気があり、出来ない子ども達も覚えたいと積極的な姿勢を見せた。</li> <li>・保護者の意見では、タクシーで送迎してくれる所が非常に歓迎されている。職場と預かる場所が逆方向だったり、距離的に始業時間に間に合わないなど、他の施設では自力で送迎が困難な家庭もあり、困っている現状の改善が図られていると判断できる。</li> <li>・預かった子ども達の会話の中から、ある女の子が家での食事や留守番の環境が著しく悪いと思われる状況にある事が判明した。以前から母親が人との接触を嫌い、行政職員や社協相談員のコンタクトを受け付けていない家庭で、予想以上に深刻な状況である事が判明した。福島県避難者支援課と山形県社協生活支援相談員、山形市社協生活支援相談員に連絡、唯一コンタクトが取れるのが当団体であるため、福島こころの公民館を会場に定期的にケース会議を開催して情報の共有を図っている。現在の所、生活環境や母親の言動に問題はあっても、実害は発生していないため、様子を見守っている状況にある。</li> <li>・春休みの預かりではこちらからお願いした訳ではないが、子ども達だけでタクシーに乗車するため、タクシー会社の方で、ドライバーさんを女性の方に固定していただいた。子ども達ともコミュニケーションが図られ、乗車と降車の際も安心できる。</li> <li>・また、毎日遊ぶだけではもったいないので、近くにある山形県庁に社会科見学に行く予定。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>①山形県復興避難者支援室から他の事例などの紹介を頂き、アドバイスを受ける。</li> <li>②預かり場所となる福島こころの公民館の運営については復興庁及び民間財団の助成金を予定している。</li> <li>③山形県社会福祉協議会と山形市社会福祉協議会は普段から連携しているが、保護者も含めた事業のサポートをお願いする。</li> <li>④学生ボランティアは直接募集する。</li> </ul>		
〒991-850 (住所) 山形県寒河江市大字西根字石川西355 村山総合支庁西庁舎附属棟 (団体名) 特定非営利活動法人やまがた絆の架け橋ネットワーク (ホームページ) <a href="http://kakehasi.jp">http://kakehasi.jp</a>			助成金額 500,000円		
			助成期間		
			H29.9.1~H30.8.31		

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。